

2024 年度心理学研究科大学院説明会 質問回答集

大学院説明会へのご参加、ありがとうございました。説明会の質疑及びアンケートでいただいたご質問※1 について回答集※2 を作成しました。受験の際のご参考になれば幸いです。

※1. なるべく参加者全体に該当する内容になるよう、質問は一部アレンジしています。また、同様の質問が複数あった場合は 1 つにまとめております。一部は過去の説明会での質問も含まれております。

※2. 個人的な質問や込み入った内容の質問についてはこちらに記載しておりません。お手数ですが、指導を希望する教員にご連絡いただくか、教務センター（大学院係）にお問い合わせください（052-835-9863）。

Q1. 学部 4 年生で発達心理学領域のゼミに所属をしているのですが、大学院では臨床心理学領域を専攻したいと考えています。それは可能でしょうか？

A1. 可能です。どの心理学領域に所属していても、臨床心理学領域への進学は可能です。実際に他領域のゼミから臨床心理学領域に進学した先輩方もたくさんいます。

Q2. 臨床心理学領域への進学を志望する者で、現在社会人をしています。また、中京大学心理学部の出身でもありません。同じような背景を持った人が実際に中京大学心理学部で学んだという実例はありますか？

A2. まず他大学から進学してくる方は毎年数名いらっしゃいます。また社会人の方が入学されるケースは多くありませんが、多様な経験を積んだ人が入学されることによって、学生がお互いに良い刺激を受けることができますと思います。ただし、臨床心理学領域は、実習が非常に多いです。病院等での実習は日中（朝から夜まで）に行われるので、その実習には確実に参加できるようにしてもらう必要があります。実習の時間が確保できないと、公認心理師・臨床心理士の資格を取ることが難しくなってしまいます。

Q3. 修士課程では臨床心理学領域に進学し、公認心理師・臨床心理士の資格を取得することを希望しています。修士課程修了後、博士課程で他の領域に進学することは可能でしょうか？

A3. 可能です。公認心理師・臨床心理士の資格を取得した後は、それぞれ関心のある研究をしていただければ良いと思います。ただし、博士課程は指導教員とのマッチングも必要になると思います。ご自身の興味関心と合う指導教員の先生がいれば、まったく問題はありません。

Q4. 臨床心理学領域に進学する人は、公認心理師・臨床心理士の資格を取得するために進学をしていると思います。一方で、資格取得には興味がなく、臨床心理学の研究をするために進学して、博士課程まで進学するという人は居たのでしょうか？

A4. 本学の臨床心理学領域では、そのようなケースはなく、非常に珍しいケースではないかと思います。また実習は必修科目にもなっていますので、必ず参加する必要があります。さらに心理検査など、実際に現場で経験を積むといったカリキュラムになっています。資格取得を希望されずに臨床心理学領域への進学をお考えの場合は、この点を十分ご検討いただければと思います。

Q5. 社会心理学・パーソナリティ心理学に興味があって進学を検討している者です。中京大学の教員の方々と社会心理学・パーソナリティ心理学の研究をメインで行っている先生はいないような感じでしたが、これらの研究分野の指導を受けることは可能でしょうか？

A5. 社会心理学と一口に言っても幅が広いので、テーマによるかと思います。研究したい内容が明確なものでしたら、本学に限らず、それを専門とする教員を探していただくのが良いと思います。

Q6. 臨床心理学領域に進学し、資格を取得したいです。また、修了後は公務員として働きたいと考えています。在学中に公務員試験の勉強もしないといけないと思うのですが、授業がたくさんある中で、どのように勉強をしている先輩がいたのかお聞きしたいです。

A6. 実際、授業が忙しい中でも5月ごろの公務員試験を受験して、合格される方もいます。公務員試験に関して、教員が特別な関与をすることはありません。ただ、合格される方は自分のスケジュール管理をきちんと行って、コツコツと努力を続けている方だったと記憶しています。また、資格取得後に公務員試験の勉強を始めるという方もいます。児童相談所や少年鑑別所で活躍している先輩方もいます。いずれにしても、相当努力を重ねていたという印象です。

Q7. 臨床心理学領域で行われる実習では、具体的にどのようなことを行うのでしょうか？

A7. 病院等によって異なります。例えば、精神科の病院では、デイケアといって退院後に通院されている方と一緒にプログラムに参加して患者さんと過ごして、どのように接していくと良いのかを学んだりします。また、心理検査を行っているところを見学して、後でその検査の結果を一緒に解釈して所見をいただいたりします。振り返りの時間では、その日の中でできたこと、できなかったことについてディスカッションをしたりします。大学の講義とは異なり、実際に人と触れ合って学んでいくことが多いです。他にも、学校や児童養護施設などでの実習もあります。児童養護施設では夜遅くまで実習があることもあります。